

玉法保育園

砂場の遊びをもっと充実させるためにキッチンセットを作りました。 子どもたちの主体的な遊びが広がり毎日とても楽しそうです！

保育環境づくりのポイント

- ・保育士だけの考えで構成せず、子どもの声を聴きながら子供が欲しいものを形にした。
- ・子どもが使いやすい様、意識してキッチンの形やフック、収納等をデザインした。

～こどもたちのこの力を育みたい～

- 感じる・気付く力
- うごく力
- 考える力
- やりぬく力
- 人とかかわる力

取組み内容

あそびが育つ保育にしていけるために、子ども達に「どんな遊びをしたいか」を聞いてみました！
子ども達からは次のような答えが返ってきました。

「キッチン、冷蔵庫、ほしいなあ」
 「フライパンとか包丁があったら料理ができて楽しそうだな。」
 「ままごとってみんな好きだよね！食べ物とかあったら嬉しいな！」



室内にキッチンセットがあり、普段からクラス問わず子ども達みんなに大人気です。そのせいかキッチンやおままごとに関する声が多く集まりました。今まで以上に好きな遊びをもっと自由にしてほしいと思い、外にもキッチンセットや棚を設置したいと考えました。外にキッチンセットがあれば、室内の環境とは違うおもちゃや土、水などを使い今までよりも、より自由な発想でもっと楽しんで様々な遊びをしてくれると思いました。砂場のキッチンを使ったごっこ遊びから子ども達の「感じる力・気づく力」(人と触れ合うことの楽しさを感じる。)
「考える力」(子ども達のアイデアが膨らみ今まで以上に遊びに夢中になる。)
「人とかかわる力」(自分の主張や表現したものを大事にしてもらえれば他人の主張や表現したものも大事にできる。)が育まれると考え、新しくキッチンを作ることにしました。



お家から使っていない本物のキッチン用品を集めました！



本物を使うことで、キッチンのイメージが湧きやすく、よりごっこ遊びに夢中になれます。

大好きな、きな粉豆をつかったよ！
感じる・気付く力
考える力

まずは豆に見立てた石をフライパンに入れました。次に砂をきな粉に見立ててフライパンに入れて、混ぜました。しかし、イメージ通りに石に砂が絡まりません。「どうしょー？」「なんで砂が石にくっつかないのかなあ」石の上に砂はかかっているのですが自分たちの大好きな「きな粉豆」はもったきな粉が絡まっていた。振り方を変えてみたり、砂や石の量を調節してみたりしますが、なかなかイメージ通りに石に砂が絡まりません。すると、ある子がアイデアを出してくれました。「そうだ！水をかけたらひつつくんじゃない？」子ども達は水を取ってきてフライパンに入れました。そしてフライパンを回すと、無事イメージ通りに石に砂が絡まりました。「わ、引っ付いた！」「やった！これできな粉豆できたね！」



キッチンがあることでごっこ遊びを通して他クラスとの関わりが増えました！

人とかかわる力



<今回の取組みを通して>
 子どもの「あったらいいなあ・・・」を形にすることで子ども達の素敵な姿を沢山みつけることが出来ました。今後も子どもの姿と声をヒントに魅力ある環境づくりをしていきたいです。
 主任 小田 志津子